

ひふみのあゆみ 2010年3月5日号

ひふみ投信 2010年2月度 ご報告書

レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第1151号
加入協会: 社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会



レオス・キャピタルワークスよりお客様へ

お客さまの資産形成のパートナーに「ひふみ投信」をお選びいただき、誠にありがとうございます。
運用責任者から皆さまへのメッセージならびに2010年2月の運用状況などをご報告いたします。

運用責任者からお客様へ

◆ 2月の投資環境(株式市場等での出来事)について

1月後半に引き続き、日本の株式市場は、ギリシャの財政赤字問題に起因している欧州の財政対応策やアメリカの利上げなどの金融政策を背景にした為替相場など、海外の動向に大きな影響をうけました。月の前半は、ユーロ安を先導役に円高が進行したことにより、自動車などの輸出関連企業や欧州事業の比率が高い企業の株価は低迷し、日経平均株価の終値は約2ヶ月ぶりに一時的に10,000円を下回りました。リコールによる品質問題が起こっているトヨタ自動車とそのグループ企業だけでなく、出資先の株価にもマイナスの影響がでて、投資家の警戒感は強まりました。ただ、下値は限定的で、月の後半にはアメリカが公定歩合を引き上げた(金融緩和策の「出口戦略」)ことで一時的にドル高(円安)になり、円安と共に日経平均株価は10,500円に接近する場面もありました。最終的に、2月末の日経平均株価は前月末と比べて0.7%ほど安い10,126.03円でした。決算発表を見る限り、日本の主要企業の多くは業績の回復を見せていて、外国人投資家もその点に注目して日本株を買い越すときが多く見られるようになりました。しかしながら、世界全体的に為替・株式などリスク資産への投資心理が冷え込んでいる影響はやはり受けており、株式市場全体での売買は1月よりも減少しました。

◆ 2月の「ひふみ投信」の運用ならびに今後について

(今後の運用や見直しについては、市場動向等の変化によって、変更することがあります)

「ひふみ投信」では、ギリシャ問題の動向や株式市場の動向に一喜一憂せず、組入銘柄の見直しと買付けを進めました。具体的には楽天やユニチャームなどの銘柄を新たに組み入れ、一方で、組入れ時より大幅に株価が上昇したジェイアイエヌを一部売却するなどの行動をしました。

日本や世界の株式市場の動向は、今後も欧州の株式市場や政策金利の引き上げ(いわゆる出口戦略)などにより振り回される神経質な展開になると考えています。ただ、今後2~3年間、経済そのものは世界的に持続的な回復モードになると考えており、「ひふみ投信」でも少しずつ総資産に対する株式の組入比率を引き上げて、強い競争力をもった輸出企業などのように、世界の景気回復の恩恵を受けるような企業への投資を進めていこうと考えております。このほかにもいくつかの着眼点に特化し、選別投資を進めていこうと考えております。これらの投資行動については、毎月開催しているセミナー等でもご説明いたしておりますので、機会がございましたら是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

(ひふみ投信 運用責任者 藤野英人)

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

ひふみ投信の基準価額について

2010年2月26日時点の基準価額 **1万口当り 11,528円**

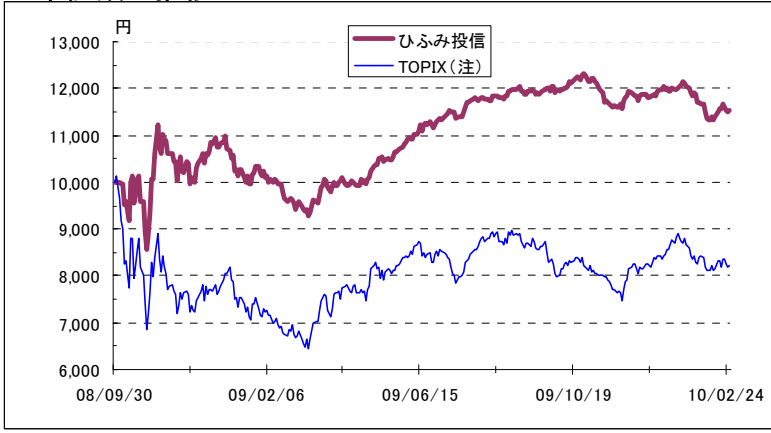
(基準価額とは「ひふみ投信」の値段のことです)

■ 運用成績について

基準価額のおゆみ [騰落率]		TOPIX騰落率
過去1ヵ月	-2.83%	-0.78%
過去3ヵ月	-1.76%	6.45%
過去6ヵ月	-4.09%	-7.42%
過去1年	19.65%	18.16%
設定来	15.28%(※1)	-17.78%(※2)

※1 設定来の基準価額の騰落率は、当初募集価額(10,000円)から2010年2月26日までにのける数値です。
 ※2 設定来のTOPIX騰落率は、当初設定日前日である2008年9月30日から2010年2月26日までにのける数値です。

■ 基準価額の推移



(注) TOPIXは、当初設定日前日である2008年9月30日の値(1087.41)を10,000として指数化しています。
 ※基準価額は、信託報酬(年1.029%(税抜年0.980%))を控除した後の数値です。

支払い済分配金	
第1期(2009年9月30日)	0円
設定来合計	0円

ひふみ投信は分配金再投資専用の投資信託です。

TOPIX(東証株価指数)は当ファンドのベンチマーク(運用する際に目標とする基準)ではありませんが、参考として記載しています。
 TOPIXとは・・・東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額(株数×1株当り時価)を指数化したものです。日本の株式市場全体の動きをあらわすともいえます。

ひふみ投信の資産内容について (2010年2月26日時点)

■ 資産の内訳

純資産総額	4.55億円
うち 株式	80.19%
うち 預金その他	19.81%
受益権総口数 (※)	395,275,075口

国別の割合	
日本株式	100%
海外株式	0%

(※・・・「ひふみ投信」をお持ちのお客様の保有口数合計です)

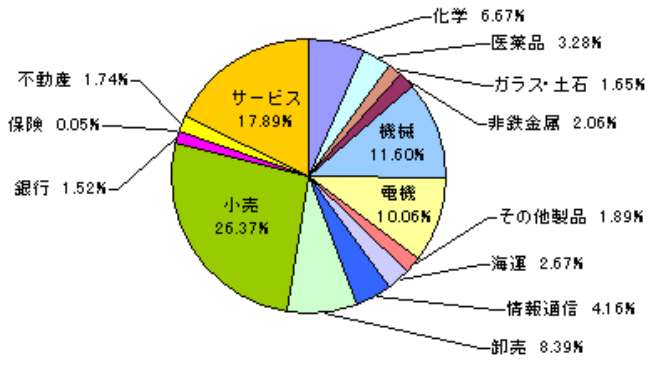
■ 組入比率の高い銘柄

(組入銘柄数:43銘柄)

銘柄コード	銘柄名	業種	比率
1	6301 小松製作所	機械	3.92%
2	8058 三菱商事	卸売	3.90%
3	4755 楽天	サービス	3.76%
4	4819 デジタルガレージ	情報通信	3.33%
5	2678 アスクル	小売	3.14%
6	6594 日本電産	電機	3.03%
7	7522 ワタミ	小売	2.82%
8	9843 ニトリ	小売	2.81%
9	8113 ユニ・チャーム	化学	2.80%
10	6255 エヌ・ピー・シー	機械	2.77%

★組入比率は、株式・預金その他を含めた「純資産総額」に対する割合です。

■ 組入銘柄の業種比率



(注)業種比率は、「株式資産」を100として、それに対する割合です。

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
 ・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
 ・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

◆「ひふみ投信」の概要について ※詳しくは投資信託説明書(目論見書)をご確認ください

商品分類	追加型投信／内外／株式	
当初設定日	平成20年10月1日	
信託期間	無期限	
決算	毎年9月30日(休業日の場合、翌営業日)	
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。	
お申込み	お申込単位	10,000円以上1円単位の金額指定でお申し込みください。 なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。
	お申込価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
	お申込受付日時	当社営業日の9時～15時までとなります。
途中換金	途中換金(解約)単位	1口以上または1円以上
	解約価額	「解約請求受付日」の翌営業日の基準価額となります。
	受付日時	当社営業日の15時までとなります。 解約のご請求は、お電話による受け付けのみとなります。
課税関係	収益分配時の普通分配金、一部解約時および償還時の差益に対して課税されます。 ※今後税法が改正された場合などには、課税関係が変更になる場合があります。	

◆「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。その他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

◆お客様の負担となる費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用：ありません

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額 は一切ありません。

なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用：次のとおりです

信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年1.029%(税抜年0.980%)
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年0.00525%(税抜年0.005%)
その他の費用	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税) 先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用 租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

～お問い合わせ先～

コミュニケーション・センター 電話： 03-6266-0123 (平日9時～17時) メール：cc@rheos.jp

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。